

都道府県名	岡山県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	備前市立備前中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	5	1	14	28
生徒数	158	159	165	1	482	

研究の概要

1. 研究主題

「生きる力」をはぐくむ教育活動の創造

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年、全教科・全領域で実施  
 （学習指導要領が目指す「生きる力」の育成を図るためには、教科指導のみならず、学校の教育活動すべてで生徒の「確かな学力」を向上させるべきものであるため）  
 (注)  
 個に応じた指導方法の工夫・改善については1年生の国語・数学・英語、2年生の英語において少人数指導を实践  
 （生徒の能力差が生じやすく、理解度に個人差が出やすい教科であるため）

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ          「客観性・信頼性を高めるための評価を生かした指導の在り方」          研究の見通し（仮説）          客観的な評価規準を作成し、授業実践を通して具体的な評価方法や指導の在り方を研究していけば、指導と評価の一体化が図られ、生徒個々の習熟の程度に応じた教材の開発や支援方法の工夫改善等、授業の質的向上につながるものと考え。こうした生徒の学習状態を客観的に把握しながら、それに適した適切な支援を行うことにより、生徒の意欲や学力の向上が図られると考える。</p> <p>研究の内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 評価基準の作成              目標に準拠した評価のための基準づくり（各教科・全体研修）              具体的な評価方法の研究と評価を生かす授業改善（授業実践）</li> <li>・ 指導方法の工夫改善...少人数指導 TT指導 選択履修幅の拡大              個に応じた指導の充実を図るため、数学・英語において少人数指導、技術・家庭ではTT指導を行い、授業研究を通して指導の在り方の工夫改善を図る。さらに、選択教科においては補充・発展的な学習の在り方について実践研究を行う。</li> <li>・ 生徒の学習意欲向上を支援する活動              ... English day 読書タイム チャレンジ活動              学習事項の定着と英語への関心や意欲を向上させるため、毎週火曜日を「English day」とし、学校全体をあげて可能な限り英語を使用し学校生活を送る日とする。              学力向上の土台ともいえる「集中力」の向上、「読解力」や「表現力」の育成を図りつつ、望ましい読書習慣を形成するため、毎週水曜日に読書タイムを設ける。</li> </ul>
--------	--

平成 15 年度	<p>テーマ 「生きる力」をはぐくむ教育活動の創造</p> <p>研究の見通し 授業づくり 指導と評価の一体化を図り、生徒個々の学習状況を客観的に把握しながら、それに応じた適切な支援（教材の開発や支援の方法の工夫改善等）を行うことにより、生徒の意欲や学力の向上が図られるであろう。</p> <p>学級づくり 教科学習のみならず、学級や地域社会での様々な体験活動により、生徒に自信や成就感を得させ、「なすことによって学ぶ」ことを通して、教科や体験活動で学んだことを総合化し、生活や行動に生かすという自主的、実践的な態度や社会性が育成されるであろう。</p> <p>自分づくり 学校生活のあらゆる機会を通して、生徒に自己決定の場を設定し、生徒自らが個性や能力・適性、進路等を考慮した主体的な判断や選択決定を行うことにより、生き方についての自覚を深め、自己実現を豊かに進めていく能力を養うことができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 ア 教育課程...「なすことによって学ぶ」補充・深化・統合の場 ・授業時数の確保 ・学習を支える環境づくり English day 読書タイム 朝学習 等 ・総合的な学習の時間の取組 ・選択教科の工夫</p> <p>イ 学習指導 - 個に応じたきめ細かな指導 ・評価の工夫...指導と評価の一体化 ・指導方法の研究 少人数指導 習熟度別指導 教材教具の工夫・開発</p> <p>ウ 学年・学級経営...学ぶ目的や学び方の習得を目指す ・自主的な学習態度の形成 ・学級活動や学年集会を利用した学習への意欲づけ</p>
----------------	--

平成 16 年度	<p>テーマ 「生きる力」をはぐくむ教育活動の創造</p> <p>研究の見通し これまでの成果と課題を総括し、継続して研究実践を進めることで教師の意識改革が進む。教師が変われば生徒が変わる。また、授業が変われば生徒の学習意欲も高まり、「確かな学力」の向上へとつながるであろう。</p> <p>研究の内容・方法 二年次までの取組を総括し、修正・深化・発展させる。 ・学習環境の整備(ソフト・ハード両面) ・多様な学びの場の創設...「確かな学力」検証の場 ・指導方法の工夫改善...少人数指導 習熟度別編成 興味関心に応じた指導 等 ・生徒の学習意欲向上を支援する活動 ・評価を生かした指導の工夫改善</p>
----------------	---

### (3) 研究推進体制

- ・学力向上フロンティアスクール研究推進委員会  
(メンバー：校長・教頭・教務・研究主任・学年主任)
- ・全体研修会と各教科別研修会
- ・教育課程部会 教科指導部会 学年学級経営部会 少人数指導研究部会
- ・授業研究会

### 平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

- ・各教科の授業において、一時間毎の「めあて」と「評価」を意識した授業実践に取り組んできた結果、教員の「授業改善」への意識改革が進んだ。
- ・少人数指導では、生徒の習熟の程度を確認しながら、個々の生徒に対してきめ細かな指導が行えるようになってきている。
- ・総合的な学習の時間に行っている「地域活動」では、教科で学んだことを応用して活動する生徒や、自らの生き方を学んだり自覚したりする生徒が見られ、総合力としての「生きる力」が徐々に身に付きつつある。

#### 2. 今後の課題

- ・少人数のクラス編成を習熟度別編成とし、個々の生徒に対してきめ細かな指導と評価を行ってきた。しかし、生徒に実施した意識調査によると、教科によっては学習意欲が低下している面も見られた。今後一層の指導力の向上に取り組んでいかなければならない。
- ・学級活動や総合的な学習の時間を一層充実させ、生徒に「学ぶ目的」や「学び方」等が十分に定着するよう留意する必要がある。
- ・生徒の実態および変容を把握するための客観的データの収集方法についても一層研究を進めていく必要がある。

### 学力把握のための学校としての取組

- ・国・数・英の基礎定着学習(「朝学習」)での成果を把握するために、定期的に到達度確認テスト(仮称)を実施する。
- ・標準的な学力テストを実施する。(年1回)
- ・教師の『評価眼』を高める「評言・評語」の研修を行う(随時)
- ・生徒の自己評価をとりいれる。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・中間発表会の実施  
日 時 平成16年2月6日(金) 10:00 ~ 15:00  
場 所 備前市立備前中学校  
テ - マ 「生きる力」をはぐくむ教育活動の創造  
対 象 県内中学校および市内小学校 参加者 約80名  
日 程 全体会(研究概要の発表)  
分科会(研究実践の発表および研究協議)  
公開授業
- ・最終年次発表会の実施予定  
日 時 平成16年11月26日(金) 10:00 ~ 16:30  
場 所 備前市立備前中学校  
テ - マ 「生きる力」をはぐくむ教育活動の創造

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                  7～9学級                       10～12学級  
                                  13～15学級                     16学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T・Tによる指導  
                                  その他
- 【研究教科】               国語                       社会                       数学                       理科  
                                  外国語                     音楽                       美術                       技術・家庭  
                                  保健体育                   その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有                       無